

第31回 国際労働問題シンポジウム

持続可能な開発目標(SDGs)とディーセント・ワーク

主催：法政大学大原社会問題研究所／ILO 駐日事務所
後援：日本 ILO 協議会／外務省

ILO は来年 2019 年の創立 100 周年に向け、技術革新、グローバリゼーション、気候変動、人口動態、労働力移動など、あらゆる側面で大きく変化する仕事の世界において、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を実現するために活動しています。国際労働問題シンポジウムは、毎年の ILO 総会の議題からテーマを選んで議論してきました。今年度は第 4 議題「持続可能な開発目標 (SDGs) を支える ILO の開発協力」を取り上げます。

シンポジウムの第 1 部では、ILO の開発協力と SDGs に関する政労使の取組みについてお話をいただきます。第 2 部では、第 1 部の報告を受けて、雇用創出、ジェンダー平等、民主化、平和構築など、「ディーセント・ワークと SDGs」の課題について問題提起をいただきます。皆様どうぞふるってご参加ください。

日時 2018 年 10 月 4 日 (木) 14 時～17 時 15 分
会場 法政大学 市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー 26 階 スカイホール
交通 JR・地下鉄「市ヶ谷」または「飯田橋」駅 下車 徒歩 10 分
参加費 無料

第 1 部 (14 時～15 時 5 分)

2018 年第 107 回 ILO 総会第 4 議題「持続可能な開発目標 (SDGs) を支える ILO の開発協力」について

第 107 回 ILO 総会の概要 ILO 駐日事務所 駐日代表 田口晶子
政府の立場から 厚生労働省 大臣官房国際課国際労働・協力室長補佐 井上栄貴
労働者の立場から 連合 国際局次長 伊古田隆一
使用者の立場から 経団連 労働法制本部上席主幹 森田清隆

第 2 部 (15 時 25 分～17 時 15 分)

学識経験者/専門家による講演およびディスカッション

- ◆吉村真子・法政大学社会学部教授
「アジアにおける開発と労働——グローバル市民社会の視点から」
- ◆中嶋 滋・前 ITUC ミャンマー事務所長／元 ILO 理事
「ミャンマーにおける SDGs 実現に向けた取り組みの実態と問題点」
- ◆福林良典・宮崎大学工学部准教授／NPO 法人道普請人 (みちぶしんびと) 理事
「アフリカの若者が主体になる SDGs に向けた取り組み——ケニア・ソマリア・ガンビアでの事例」

(司会：鈴木宗徳・法政大学大原社会問題研究所副所長／社会学部教授)

お申し込み：9 月 26 日 (水) までに「国際労働問題シンポジウム」と明記の上、下記のいずれかにお申し込みください。
○法政大学大原社会問題研究所 fax：042-783-2311 e-mail：oharains@adm.hosei.ac.jp 氏名、ご所属、連絡先をお知らせください。
○ILO 駐日事務所 右コードのフォーマットに氏名、ご所属、メールアドレスを送信してください。



法政大学大原社会問題研究所
HP：<https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>
Twitter：@oisr1919



ILO 駐日事務所
HP：<http://www.ilo.org/tokyo/>
Twitter：@ILO_Tokyo

